

環境プラン リーディング事業進捗状況

環境プランの基本施策		廃棄物の減量化と適正処理
事業名	No.1-1	市民参加で取り組むごみのないまちづくり事業
事業の内容		市民ボランティアにより、ごみの適正処理の啓発と不法投棄防止のパトロールを実施します。
目的		不法投棄しにくい環境をつくれます。
効果		ごみの適正処理に関する市民の意識が高まり、不法投棄が減ります。
22年度の実施内容		H22年9月号広報でボランティアを募集。4名参加。 H22.11.19～H23.3.4 ごみ適正処理啓発市民ボランティア講座を5回実施。

環境プランの基本施策		廃棄物の減量化と適正処理
事業名	No.1-2	食品廃棄物リサイクルの推進事業
事業の内容		一般家庭の生ごみの肥料化を推進するとともに、事業系の食品廃棄物リサイクルの研究を進めます。
目的		生ごみ分別を行う家庭を増やします。また、事業系の食品廃棄物リサイクルの仕組みをつくれます。
効果		家庭から出る生ごみと事業系の食品廃棄物が減ることで、燃やすごみの量が減ります。
22年度の実施内容		生ごみ処理機補助金制度の広報等による啓発を実施。

環境プランの基本施策		廃棄物の減量化と適正処理
事業名	No.1-3	3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進
事業の内容		マイバッグ運動をさらに推進し、レジ袋使用の削減を図り、3R運動に取り組みます。
目的		マイバッグを利用する人を増やします。
効果		ごみの発生量の削減ができます。
22年度の実施内容		南信州レジ袋削減推進協議会、環境課及びボランティアが協働して、市内の大規模店舗2店舗で店頭啓発運動を行いました。また、飯田駅前でごみ0(ゼロ)運動にあわせマイバッグ運動及びレジ袋削減運動のティッシュを配布しました。

環境プラン リーディング事業進捗状況

環境プランの基本施策		地球温暖化問題への対応
事業名	No.2-1	地場産再生可能エネルギー活用推進事業
事業の内容		地域の特性を生かし、エネルギーの域産域消の観点から、一般家庭を中心に再生可能エネルギーの積極的な活用を推進します。
目的		地場産再生可能エネルギーの利用を拡大します。
効果		地場産再生可能エネルギーの域産域消を推進することで、排出量の最も多い一般家庭部門からのCO2削減につながります。
22年度の実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電システム、太陽熱温水器、木質ペレットストーブ、薪ストーブの奨励金制度により、再生可能エネルギー利用機器の普及を推進 ・公用車などでバイオディーゼル燃料の利用により、意識啓発を実施 ・地域と共同して小水力発電の可能性について調査 ・環境モデル都市アクションプランにおける太陽光発電普及モデルの実施

環境プランの基本施策		地球温暖化問題への対応
事業名	No.2-2	雨水利用プロジェクト
事業の内容		地域として未利用の雨水を、資源循環の観点により、二次水資源として再利用します。
目的		資源の有効活用として雨水利用を図ります。
効果		雨水という天然資源の活用により省エネにつながります。
22年度の実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設に雨水貯留タンクを設置 ・雨水浸透ますの公共施設への設置 ・上記による雨水利用の意識啓発

環境プランの基本施策		地球温暖化問題への対応
事業名	No.2-3	市民に便利で、環境にやさしい交通体系づくり
事業の内容		市民に便利で、環境にやさしい交通体系を研究し、実験的運営をします。
目的		市民に便利で、環境にやさしい交通体系の実現を図ります。
効果		交通・運輸部門での二酸化炭素等の削減になります。
22年度の実施内容		<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域ぐるみ環境ISO研究会による呼びかけ <ol style="list-style-type: none"> ①「環境の日」一斉行動週間 97事業所 ②「生活と環境まつり」一斉行動週間 62事業所 ③「京都議定書発効記念」一斉行動週間 80事業所 2. 公共交通の検討 <ol style="list-style-type: none"> ①市民バスと乗合タクシーを併用した千代線運行 ②遠山地域における路線バスと乗合タクシー併用運行 ③広域連合・近隣町村と連携した公共交通の運行

環境プラン リーディング事業進捗状況

環境プランの基本施策		緑の保全と創出
事業名	No.3-1	竹林の整備と利活用
事業の内容	竹林の整備を行うとともに竹の資源化その他の利活用を検討します。その一つとして、竹パウダー利用の実証実験を行います。	
目的	竹の利活用方法を拡大することで竹林の整備を促進します。	
効果	竹林の整備が進み、農地、森林、里山への侵食を抑えることができます。	
22年度の実施内容	・市街地のイベントであるキャンドルナイト時に竹整備も兼ねた竹灯籠づくりをしました。使用後の竹は福祉施設にて竹炭にしています。	

環境プランの基本施策		緑の保全と創出
事業名	No.3-2	緑につつまれたまちづくり
事業の内容	地域ごとに特徴的な樹木を選定し、その植栽を促進するなどの方法により地域の緑化を推進します。	
目的	地域の緑を増やします。	
効果	地域の緑が確保され、飯田市の魅力となります。	
22年度の実施内容	・緑の募金による還元事業(緑化推進事業)として、各自治振興センター、小中学校、公民館、等に西洋シャクナゲ、みつばつつじ等、1,253本を頒布しました。	

環境プランの基本施策		緑の保全と創出
事業名	No.3-3	身近で親しみやすい森林や里山づくり
事業の内容	森林や里山の多面的機能の活用や歴史・文化について学び、整備を推進します。	
目的	森林の大切さを理解し、森林や里山に入る市民や事業者を増やします。	
効果	森林を憩いの場として利用し、森林の大切さを理解する市民が増えます。また、森林や里山の整備が進みます。	
22年度の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・森林づくりの市民参加講習会・体験学習会を実施しました。(野底山森林公園まつり開催、松川現流域の視察・森林整備の必要性を説明、南信森林管理署主催の国有林ツアーなど) ・千代のよこね田んぼを通し、田植えや稲刈りなどに約1500人が関わり、里山の大切さや楽しさを実感されました。 	

環境プラン リーディング事業進捗状況

環境プランの基本施策		環境汚染の防止
事業名	No.4-1	ふるさとの川づくり事業
事業の内容	各地域で親しめる川を選び、そこを利用してさまざまな活動を展開します。	
目的	身近にある川と触れ合うことにより、河川の水質保全の意識を育てます。	
効果	住民の川に対する意識が高まり、きれいな水質が保たれます。	
22年度の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・松尾地区にて、天竜川河川敷のごみ拾いを継続的に行っています。22年度は2回実施し、延べ約570人(うち中学生167人)が参加し、地域の現状を知り、環境を考える機会となっています。 ・上郷地域まちづくり委員会において、河川の自然景観の改善と環境保全への意識啓発を推進するため、アレチウリ除去作業を実施しました。 	

環境プラン リーディング事業進捗状況

環境プランの基本施策		環境学習の推進
事業名	No.5-1	e・c・o☆キャンペーンの展開
事業の内容	毎年、環境に対して取り組むテーマを決めて、それ自体がエコな視点のイベントを“e・c・o☆キャンペーン”として展開するとともに、それ以外のイベントにもエコな視点を加えてもらい、“e・c・o☆キャンペーン”として展開します。	
目的	様々なイベントを“e・c・o☆”の視点で企画してもらい、環境について市民が考える機会を増やし、市民への意識啓発を進めます。	
効果	より多くの市民が環境について高い意識を持ち、具体的な行動につながります。	
22年度の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生活と環境まつりにおいて、 ・各種イベントにおいて、環境や健康に良い自転車の活用や実践的なエコライフについて普及啓発を行い、地域内の人が楽しく環境に優しい暮らしを実践できるような情報発信を行いました。 ○ツアーオブジャパン南信州ステージの開催 H22.5.19 ○サイクルトークサロン(エコライフ普及イベント)の開催 2回 ○レンタサイクル運用 	

環境プランの基本施策		環境学習の推進
事業名	No.5-2	みんなで作るいい環境物語
事業の内容	飯田市の環境キャラクターを作り、様々な場面やe・c・o☆キャンペーンにおいて使用します。	
目的	市民の環境に対する関心を高めます。	
効果	子供から大人まで、楽しみながら環境を考えることができるようになります。また、キャラクターを通して意識づくりが進みます。	
22年度の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度中に長野県の「地域発元気づくり支援金」に応募したが予算がつかず、キャラクターの作成には至っていません。 ・環境モデル都市提案書の中では、「Aさんの生活」という物語を描いています。抽象的なキャラクターではなく、飯田で描ける環境に優しい将来の地域社会の姿をイメージしてもらえるような工夫をしています。 	

環境プラン リーディング事業進捗状況

環境プランの基本施策		環境にやさしい事業活動の推進
事業名	No.6-1	森林吸収源活用によるCO2削減推進事業
事業の内容	森林吸収源を活用した森林整備と交流都市圏との協働による新たなCO2削減モデルを研究します。	
目的	地域の豊富な森林資源が持つCO2吸収源を活かし、交流都市圏と協働でCO2削減を図ります。	
効果	都市圏との交流や森林整備、温暖化対策が促進されます。	
22年度の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・飯田りんごんにおけるカーボンオフセット事業への取組みとして、てぬぐい販売につき一部をカーボンオフセットの協力金とし、千代地区の木から作った炭を購入してりんご並木の土壌改良材としました。 ・渋谷区住民と植樹を通じた「みどりの環交流」を推進しています。22年度は下久堅地区・座光寺地区と交流を行いました。また、横浜市と千代地区も森林資源に基づくカーボンオフセット交流を行いました。 	

(資料) 西暦と元号の早見表

西暦	元号	西暦	元号
1989	平成元年	2001	平成13年
1990	平成2年	2002	平成14年
1991	平成3年	2003	平成15年
1992	平成4年	2004	平成16年
1993	平成5年	2005	平成17年
1994	平成6年	2006	平成18年
1995	平成7年	2007	平成19年
1996	平成8年	2008	平成20年
1997	平成9年	2009	平成21年
1998	平成10年	2010	平成22年
1999	平成11年	2011	平成23年
2000	平成12年	2012	平成24年